

# スリランカの紅茶プランテーション

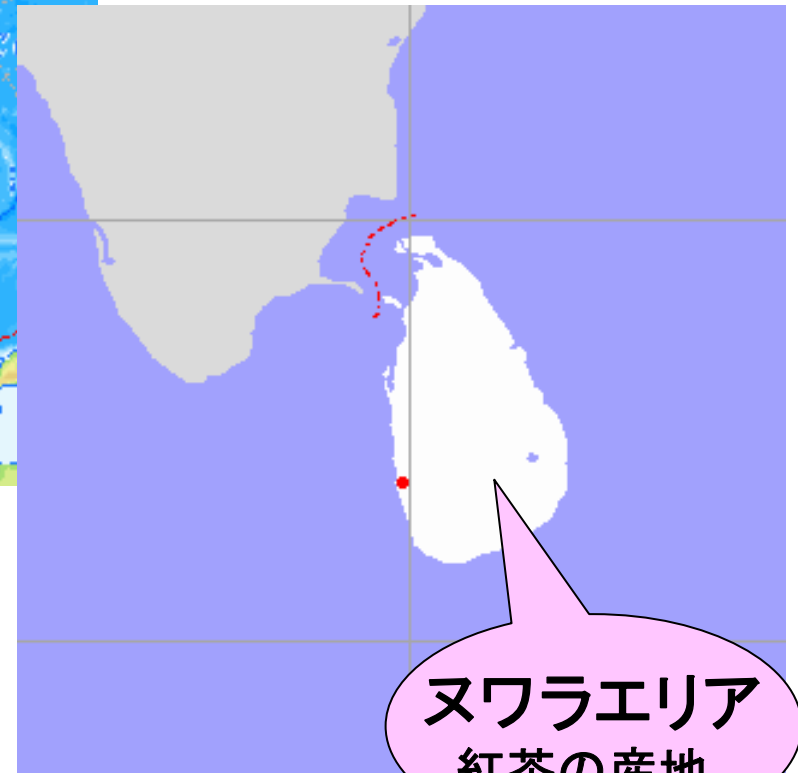
2005. 10. 都立一橋高校 高島みゆき

- ・生産量: 1位インド 2位スリランカ 3位ケニア
- ・輸出量は1位スリランカ 世界の20%のシェア
- ・スリランカの全輸出額の4割で、基幹産業。  
6億ドル稼ぎ出す。
- ・全人口の1割が紅茶産業に従事

# スリランカはどこにあるの？



スリランカ



ヌワラエリア  
紅茶の産地

# 紅茶はどんな場所でとれるの？



- 熱帯や亜熱帯気候
- 雨が多く降る高温多湿
- 昼と夜の気温さが大きい地域

## <ヌワラエリア>

- 標高2000m 霧が多い
- 昼夜の気温差が大きいので、タンニンが増えシャープな味になる。

# スリランカの紅茶プランテーションとは？

## ●プランテーションの歴史

19世紀中頃：イギリス植民地時代にはじまる。

現在、民営化され、23のプランテーション経営会社に分割  
460の農園23万ha、居住人口85万人、労働人口30万人

## ●プランテーションの特徴としくみ

①プランテーション会社が仕事以外の生活全般にわたり、プランテーション会社が面倒をみる。

②「社有地」としての閉鎖性 ゲートがあり、出入りの自由はない。

③封建的な運営

プランテーション経営者側からのトップダウン経営

# プランテーションの構造

この植民地構造が  
150年も  
続いている。

会社の役員  
出身地は農園以外

マネージャー

シンハラ人の上流階級

会社の社員  
出身地は農園以外

スタッフ

シンハラ人とタミル人

出身地は農園内  
日雇い労働者

労働者

ほとんどが南インド出身の  
タミル人

紅茶はスリランカの基幹産業なので、海外の資本の農園はほとんどありません。

# プランテーションの人々の暮らし

- ①イギリスの植民地時代に南インドからつれてこられた人々の子孫
- ②農園に生まれ、学校卒業後16歳から農園で働きはじめる。
- ③植民地時代からの住居 6畳2間に5~6人
- ④必要最低限の公共サービス、学校、病院、託児所はあるが、設備は古い。
- ⑤女性は茶摘み、男性は、紅茶農園内の肉体労働  
女性：朝7時から夕方5~6時頃まで労働、日雇い労働  
男性：朝7時から昼2時頃まで草取り、肥料やりなどの日雇い労働  
職業選択の自由はほとんどない。

# 農民の住宅







# 紅茶の収穫



一芯二葉

この棒は何に  
使うのでしょうか？



# 茶摘みは女性の仕事？

- 茶摘みは、手先が小さく、器用な女性の仕事。

すべて手作業

- 「1芯2葉」新芽とその下の葉2枚を摘み取る。

- 「オレンジペコ」は、新芽の下の葉のこと



# 1日の日給は？

女性の茶摘み：朝7時から夕方5～6時頃まで労働  
1日18kgの収穫（1日 籠4～5杯分の茶摘量が必要）  
18kgで4.5kg分の紅茶を製造。  
基本給175ルピー（日本円210円）  
さらに、収穫した場合は、1kgにつき、8ルピー（10円）  
もらえる。

## <スリランカの物価>

- ・米1kg40円 ・卵1個7円 ・コカコーラビン20円
- ・マクドナルドハンバーガーセット200円 ・ノート20円

# 紅茶の収穫

1日18kg  
籠4杯分



計量



紅茶工場へ

# 紅茶100gの値段

- 工場出荷時 22円
- 工場直営売店 34円
- スリランカ国内 48円
- ブローカー、バイヤー、メーカー ??円
- 日本 ウェッジウッド 1125円  
トワイニング 735円  
あなたの家の紅茶は ??円

# 紅茶プランテーションの現状と問題点 1

## ●紅茶産業の衰退

スリランカの外貨獲得上位だが、生産性の低下している。(民営化されたが政府の力が強い。統一賃金)

## ●住民の住環境の悪化

住居設備、トイレや水の衛生問題

## ●生活習慣、社会への関心の低さ

アルコール中毒、家計管理、栄養問題など

## 紅茶プランテーションの現状と問題点 2

- 社会サービスとその情報が得られにくい  
地方行政の不在とプランテーション会社の  
無関心(生活保護、国籍、ID、選挙権など)
- 若年層の未就労者の増加  
選択肢の欠如、将来に対するあきらめ

# みんなで、この紅茶プランテーション居住者の生活改善活動を考えてみよう！！

- ◆どんな問題があるか？
- ◆目標は何か？
- ◆具体的にどんな改善の事業が考えられるか？
- ◆どんなことに注意しながらすすめていきたいか？

①個人で考えられることを紙に書く

②グループで、個人の意見を発表しながら、模造紙にまとめてみよう！形式は自由



# (例) ケア・ジャパンの活動

## Care International Japan

目標: 居住者の社会生活改善

= 農園コミュニティと外の社会とのつなぎ役

1. 参加型の住民組織を作る

住民間、住民と経営者間、住民と農園外との  
コミュニケーションをはかる

2. インフォメーションセンターの導入(情報提供をする)

3. 情報、公共・商業サービスの活用

意識向上キャンペーン、若年層へのアプローチ  
小規模融資など

# (例) ケア・ジャパンの活動の課題

## Care International Japan

- 会社の経営者との住民が良好な関係を保ちつつ、コミュニケーションをとる。
- 世代にわたる「依存心」から「責任」への意識変化
- 住民のエンパワーメントの難しさ  
「知らなければ よかった」と思わせない住民の意識向上。「目に見える成果」と「目に見えない成果」との均衡
- プランテーションの構造が変わらない限り、真の変化はない→各機関との連携が必要